

第 8 回斜面工学研究小委員会 議事次第

日時:平成 2019 年 8 月 7 日(水)14:00~17:30

場所:土木学会_F 会議室

出席者(敬称略、順不同):鈴木、美馬、櫻井、伊藤、橋口、北爪、大野、藤井 計 8 名

=====■報告事項=====

- 1 前回議事録の確認→承認
- 2 2019 重点研究課題報告書



- ① 土木学会 HP からダウンロード可能(以下 URL)

[http://committeesjsce.or.jp/s_research/system/files/H30 重点研究課題成果報告書_190426 完成\(差し替え\).pdf](http://committeesjsce.or.jp/s_research/system/files/H30重点研究課題成果報告書_190426完成(差し替え).pdf)

- ② 斜面工学小委員会 HP での周知
 - a) 美馬さんに、URL を UP しておいてもらう。
- ③ 報告書の関係者周知
 - a) 委員のメンバーが、防災に関わる人に成果を周知して欲しい。
- ④ 報告書の関係者配布
 - a) 80 部程度配布可能である。
 - b) 委員会が出た配布先候補を、資料-1に示す。

3 土木学会オープンキャンパス 2019 参加報告

- ① 岩佐さんが欠席だったため、鈴木委員長から概要を説明。
- ② 岩佐さんが出席されたときに、詳細報告を行ってもらう。
- ③ 開催日 2019/07/06、土木学会にて開催
 - 地すべり(地下水の影響)
 - がけ崩れ(ナット活用)
 - 擁壁構造違い(L、T、J 型、積み構造)

4 「実験で学ぶ土砂災害」販売促進

- ① 藤井より説明
- ② 最低限目標部数 2000 冊に対して、2019/7/31 現在で 1834 冊である。
- ③ 最低でも 166 冊を、委員会メンバーで協力して販売していく。
- ④ 再度、販促パンフレットを配布するので、講演会や講習会の場で販促をお願いしたい。

5 災害復旧事例の情報提供

- ① 元ネクスコ総研で、現在「基礎工」の編集委員をされている横田氏から、情報提供依頼。
- ② 欲しい情報
 - a) 近年の豪雨災害の災害事例と対策工に関する情報。
 - b) ハード・ソフト両方お願いしたい。
 - c) 幅広い分野から採用したい。
- ③ 現在の情報提供状況
 - a) 5 件の応募があった。
- ④ 今後について
 - a) 8 月いっぱいまで募集するので、積極的にあげて欲しい。
 - b) 基礎工に、斜面工学の委員の名前で投稿できると斜面工学として嬉しい。

6 その他

- ① 関西ジオシンポジウム 2019(11 月 1 日開催)で以下のメンバーで発表する。
 - a) 鈴木・美馬・西川・桜井・後藤先生
 - b) 報告会后に斜面のHPに掲載したらどうか？
 - c) 地盤工学会に許可をもらう必要があるかもしれないので、確認をしてから掲載する。

=====■審議事項=====

1 東京都防災展(藤井説明)

- ① 参加目的
 - a) 社会的に意義がある
 - b) 土木工学・斜面工学の認知につなげる
 - c) また、「実験で学ぶ土砂災害」の販促にもつなげる。
- ② 参加の可否：参加することです承
- ③ 開催日：9 月 15 日(日)、16 日(月・祝)
- ④ 開催場所：二子玉川ライズ
- ⑤ 参加者募集：2019/08/04 に伝助で参加者募集を開始
 - a) 4 人体制を確保したいので、積極的な参加をお願いする。
 - b) 交通費は土木学会より支給

2 出版企画について

- ① 出版することについて
 - a) 前回委員会で委員の了解を得ている。
 - b) 今回の委員会でも再確認→了承
- ② 出版企画書を 9 月 30 日までに提出する必要がある。
 - a) 親委員会の審議も必要なので、早めに準備する必要がある。
- ③ 出版内容に関する前回までの意見
 - a) Q&A(2004 出版)の続編を出す方向(15 年経過)
 - b) その後、大規模災害が続いており、新たな知見が入ってきている
- ④ 出版内容に関する意見(今回委員会)
 - a) 出版企画書の内容に沿って、委員で確認を行っていった。
 - b) 内容：災害にこだわってではなく幅広く
 - c) 対象：専門家向け？
出版企画書の書式では、以下が対象
コンサルタント・建設会社・電力ガス会社・鉄道会社・道路会社
中央官庁・地方自治体・大学高専教員・学生
 - d) 目的：斜面工学に興味がある初学者への技術伝承
 - e) 図書の分類：特定分野の専門書・実務書・学校教材
 - f) 対象読者：初学者・学び直し(リカレント教育)
 - g) 活用方法：実務生かしてもらう・人材育成に生かす
 - h) 原稿提出：2021 年 5 月
 - i) 発行予定日：2021 年 9 月
 - j) 書籍記載：全員参加を原則とする。

- k) 内容に関して委員会が出た意見
ケーススタディを通じて考えさせるような形式にしたら？
前は 100 個をみんなで相談して決めた
実務を行うための教科書的な内容にしたら
土質力学等の教科書は小さいことから入るので、対局的な方向から入っていく
写真を見せてクイズにする(稲垣さんが講習会で使っている手法は興味がわくかも)

3 次期委員会について

- ① 斜面委員会の継続に関して
- a) 土木学会の多くの委員会の中で、活動が活発な委員会である。
 - b) 斜面委員会は提案型の委員会で、存続の提案をする必要がある。
 - c) 今後の流れ
2020 年 1 月に親委員会に新規立ち上げを連絡
親委員会の幹事会で斜面委員会の継続審議
今までの活動状況から、存続は了解される見込み
- ② 次期斜面委員長について
- a) 歴代委員長
1 期 2 期 3 期 後藤先生
4 期 5 期 6 期 鈴木先生
2017 年度(H29)
2018 年度
2019 年度(2020 年 5 月で終了)
本来は 2 期が原則なので、3 期目は理由書を作成して了解をもらっている。
 - b) 次期委員長の決定について
鈴木委員長宛に委員長候補を自薦・他薦で意見
名前でなくとも、このような人がいいという形でもよい
次回委員会 11 月一次の委員長を決める

4 その他

- ① 巡検について
- a) 災害対応の巡検はあるが、
 - b) いわゆる巡検は実施していない。
 - c) 北海道胆振東部地震(厚真)を見ていない。
行くのであれば 10 月末位か？
- ② 今回委員会での話題提供について
- a) 鈴木先生より、予定していた方は、人数が少なかったので別機会にしてもらった。
- ③ 「平成 30 年 7 月豪雨を踏まえた豪雨地盤災害に対する地盤工学の課題-地盤工学からの提言-」
- a) 特徴
提言は 14 に絞った。暫定版 URL https://www.jiban.or.jp/file/saigai/houkoku/H30_TeigenZantei.pdf
土地地盤の公的関与の強化を新たに加えた
道路と鉄道をまとめた(線上インフラ)
- ④ 次回開催日
- a) 10 月 4 日・7 日・28 日を候補に、伝助で調整する。



資料- 1 2019 重点研究課題報告書の配布先（案）

土木学会の西部支部

砂防フロンティア整備推進機構

土木研究所

国総研

寒地土研

防災科研

農研機構（地すべり・ため池）

消防総研

森林総研

ネクスコ総研

鉄道総研

●被災した県の建設技術センター及び県立図書館

広島・岡山・山口・愛媛・京都・岐阜・熊本

大分・福岡・兵庫・島根・長崎・奈良・和歌山・三重

東京都・神奈川・徳島・宮崎